

小中学校の耐震診断結果について

教育委員会だより

平成7年に施行された「建築物の耐震改修に関する法律(耐震改修促進法)」により、現行の耐震基準(昭和56年)以前に建築された建築物について耐震診断及び耐震改修に努めることが求められております。和水町は、児童生徒等の安全性を確保すると共に、地域の防災拠点としての責務を果たすため、概ね5年(平成24年度)を目途に耐震補強工事を実施予定ですが、この耐震補強工事は、学校統廃合問題に大きく係わってきますので、慎重かつ早急に検討していきます。

学校施設耐震診断結果

学校名	建築年度	区分	診断対象		診断結果		
			棟数	面積	IS値 0.3未満	IS値 0.3以上 ~0.7未満	IS値 0.7以上
菊水中央小学校	昭和55年度 昭和56年度	校舎	2棟	2,650㎡		2棟 (0.59)	
菊水東小学校	昭和54年度	校舎	1棟	1,741㎡			1棟 (0.71)
※神尾小学校	昭和55年度	校舎	2棟	1,713㎡		1棟 (0.58)	1棟 (1.66)
菊水中学校	昭和51年度 昭和52年度	校舎	3棟	3,334㎡		2棟 (0.58)	1棟 (0.73)
※菊水中学校	昭和55年度	体育館	1棟	1,254㎡		1棟 (0.38)	

- ★ 学校名の前に※がついている学校は、一次診断の結果です。他学校は、二次診断の数値です。
- ★ 一次診断の建物については、平成20年度末までに二次診断を実施します。
- ★ ・一次診断
柱や壁の量から略算される建物の強度を基準に診断します。
壁量の多い建物に適した簡便法です。
- ・二次診断
柱と壁の強度とじん性を考慮して耐震性能を算出する手法で、一次診断より精密な判定法です。
鉛直部材の強度のほか、建物のじん性も評価します(じん性:粘り強さ)。

■ Is値とは

建物の耐震性能を判断するための数値(構造耐震指標)で、国土交通省では安全の目安としてIs値を0.6以上としています。なお、文部科学省の耐震改修基準は、Is値0.7となっています。Is値に対応する耐震性能を下記のように判断します。値が大きいほど耐震性能が高いことをあらわします。

Isの値	耐震性能
0.3未満	大規模地震時に倒壊・崩壊の危険性が高い
0.3以上0.7未満	大規模地震時に倒壊・崩壊の危険性がある
0.7以上	大規模地震時に倒壊・崩壊の危険性が低い

※大規模地震とは、震度6強程度が目安です。

みんなで支える学校 みんなで育てる子ども

子どもたちの学びをサポートする 学校支援地域本部事業が始まります。

地域住民が「子どもたちの教育のために役立ちたい」という思いをもって、学校の様々な活動をボランティアで支援します。この活動によって、教育活動の充実が図られるとともに、先生が子どもたちと向き合う時間が持てるようになったり、子どもが地域の人とふれあい、多様な経験をする機会になったりするなど、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることが目的です。これまでも、和水町内の各学校では、地域のボランティアの協力を得ながら、学校運営や教育活動を行っており、本事業はそうした取り組みをさらに拡げるものです。

できることを できるときに できるところから



学習支援サポーター



農業体験サポーター



農業体験サポーター

詳しくは、学校支援ボランティア募集のお知らせをご覧ください。

問い合わせ先 中央公民館 ☎0968・86・2022
三加和公民館 ☎0968・34・3047

和水町教育の日

みなさまお待ち
していま〜す

今年は11月22日（土）に小中学校すべての保護者や町民の皆様へ、子どもたちの教育活動を見ていただき、教育に関する講演を聴いていただき、これからの和水町を担っていく子どもたちを学校、家庭、地域でどのように育てていくのか一緒に考える機会にしたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

と き 11月22日（土） 午前9時～午後3時

ところ 和水町体育館

○午前の部（午前9時～午後0時20分） 小学校連合音楽会
和水町ふれあい会館及び和水町総合グラウンド

○午後の部（午後1時30分～午後3時） 教育講演会 小中合同ふれあい活動

講演会 演題 「かしこい子どもに育てる方法 ～いまなぜ食育か～」

講師 女子栄養大学短期大学部 教授 金田雅代先生



昨年度の
「和水教育の日」
の一幕



小学校連合音楽会



小中合同ふれあい活動



教育講演会